調達管理番号・案件名

25a00183_カンボジア国国道1号線・メコン架橋整備事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年5月26日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	3	コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン	コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン2024年4月(2025年3月追記版)P31の表「業務実施契約及び業務実施契約(単独型)におけるプロポーザルに記載する事項と分量」によると、様式4-2はページ数上限が1ページと規定されているが、本件ランプサム様式では、作業内容、分担業務ともに大量であり、A4サイズでは表現が難しいため、A3サイズで作成してもよいのか？	様式4-2については、フォーマットに基づいて記載いただいた場合には、行数、1行の文字数のカウントの対象外とします。 (プロポーザル作成ガイドライン 別添資料7 プロポーザルに記載する形式 2. 留意事項(3))
2	11	第2章 特記仕様書案 第3条 実施方針及び留意事項 (2) 参考資料 ②配布資料(契約締結後に配布)	本プロポーザル作成段階において配布資料は無いものと理解いたしましたが、「契約締結後に配布」を予定されている資料の内容(資料名)を開示いただくことは可能でしょうか？	契約締結後に配布する資料の内容に関しては検討中ですが、環境社会配慮に関する詳細情報等、調査を速やかに着手するに際し必要な資料を契約交渉順位通知後の契約交渉の過程で、契約交渉相手先に配布する予定です。
3	15	第2章 第3条 (8)環境社会配慮(p.15) 第3章 2.業務実施上の条件(1)業務工程(p.55)	p.15の記載では、案件概要説明(全体会合)の開催が2025年8月、スコーピング案に対する助言確定は2025年10月の全体会合を想定されており、同記載によると、スコーピングWGは2025年9月以前と想定されます。 一方、p.55記載の業務工程表には、 (1)2025年7月に「環境助言委員会」 (2)2025年2月に「環境助言委員会WG」 の記載があります。この工程表に従えばスコーピング案の助言確定は2026年3月以降と考えられます。以上の助言委員会に関する異なる記載に関して、プロポーザルとして想定すべき下記の助言委員会のタイミングをご教示ください。 ①スコーピング案に関する案件概要説明(全体会合) ②スコーピング案に対する助言委員会WG ③DFR案に対する助言委員会WG	業務工程表の記載に一部誤りがございます。 想定している助言委員会のタイミングは下記の通りです。 ①案件概要説明:2025年8月 ②スコーピング案に係る助言委員会WG:2025年10月 ③DFR案に係る助言委員会WG:2026年8月(状況により前後する可能性有り)

4	15	第2章 特記仕様書案 第3条 実施方針及び留意事項 (8) 環境社会配慮 P.55 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 (1) 業務工程	P.15の「環境社会配慮助言委員会の案件概要説明及びスコーピングに対する助言確定は、それぞれ2025年8月、2025年10月の全体会合で対応することを想定している」と、P.55の業務工程の内容が合致しないのではないかと考えられますが、どちらが現時点の想定として正しいのでしょうか？それとも両方正しいのでしょうか？	質問3の回答の通りです。
5	18	第3章 (13)事業対象範囲の検討(p.18) 第4章 (10)概略設計(p.34)	公開資料の「カンボジア国南部経済回廊(道路・橋梁セクター)に係る情報収集・確認調査」(2024年)ではメコン川トンネルが含まれています。一方で企画競争説明書の当該項目にはメコン川トンネルに係る記載はありません。メコン川トンネルは本件業務の事業対象に含まないとの理解でよろしいでしょうか。(この質問内容に修正がございましたため、再送いたします)	質問7の回答の通りです。
6	19	第2章 特記仕様書案 第3条 実施方針及び留意事項 (13) 事業対象範囲の検討 フライオーバー	「本事業においては3か所のフライオーバーの建設が想定されている」とありますが、先行調査の報告書「表7.2-1」にはフライオーバーは2箇所と記載されております。現時点で想定されている3ヶ所の場所(起終点位置)を開示いただくことは可能でしょうか？	先行調査p.7-19に記載の通り、都心部に近い区間の2カ所のフライオーバーに加え、国道1号線からメコン架橋に繋がる交差点部分のフライオーバー1か所の計3か所を想定しております。
7	33	33頁 (9)代替案の検討 上記各種調査等のレビューから得られた情報(公開資料より)	公開資料の「カンボジア国南部経済回廊(道路・橋梁セクター)に係る情報収集・確認調査」(2024年)ではメコン川架橋案の代替案としてトンネル案の計画がございませぬ。これは代替案であって今回は正式なスコープでないとの理解でよろしいでしょうか。	本準備調査で想定する事業は別紙1記載の通りであり、トンネル案は想定する事業には含まれておりませぬ。
8	33	第2章 特記仕様書案 第4条 業務の内容 (7) 障害視点に立った調査・計画	「障害視点に立った調査・計画」は、「障害者視点に立った調査・計画」が正しいのでしょうか？	実際に障害のある人々の立場や経験に基づいた視点である「障害者の視点」と異なり、「障害視点」は「障害」そのものに焦点を当てた視点であり、障害がどのように社会や環境に影響を与えるか、障害があることでどのような課題や問題が生じるかを踏まえて社会全体が障害について理解し対応するための視点となります。正しくは「障害視点に立った調査・計画」となります。
9	45	第2章 第5条成果品(p.45) 第3章 2.業務実施上の条件(1)業務工程(p.55)	P45の成果品に関する表において「助言委員会のスコーピング資料」の提出時期がWG開催の2カ月前までとされていますが、仮にWGの9月開催を想定されている場合、提出が7月となります。見積書の開封時期が6月19日であることを考えると、契約日から数週間で助言委員会資料を提出する段取りとなりますが、この認識で間違いはないか確認させて下さい。	ご理解の通りですが、質問2の回答に記載の通り、環境社会配慮に関する詳細情報等、助言委員会資料作成に必要な情報を契約交渉順位通知後の契約交渉の過程で、契約交渉相手先に配布する予定です。

10	46	<p>第2章 特記仕様書案 第5条 成果品 本業務で作成・提出する報告書等及び数量</p>	<p>ファイナル・レポートの提出時期が「契約履行期限末日」となっており、P.1には契約履行期間として「2025年7月～2026年12月」と記載されています。他方で、P.55の業務工程にはF/Rの提出時期として2026年10月が示されています。どちらが現時点の想定として正しいでしょうか？ 同様に、インセプション・レポートの提出時期についてもご確認いただけますでしょうか。</p>	<p>p.55(1)業務工程の記載が誤りです。正しくはp.45記載の通り、ファイナル・レポートの提出時期は契約履行期限末日(2026年12月)となります。</p>
11	46	<p>第2章 特記仕様書案 第5条 成果品 (3) インテリム・レポート</p>	<p>記載内容として「事業の背景・経緯、事業実施の必要性・妥当性、最適案、事業費、環境社会配慮、自然条件調査等」が挙げられておりますが、このうち「事業費、環境社会配慮、自然条件調査等」については、調査の途中段階のものを記載すると理解してよろしいでしょうか？</p>	<p>ご理解の通りです。但し、特に環境社会配慮に関しては環境カテゴリAであり広範な調査が必要とされるところ、早期に着手し、調査結果を報告いただくことが望まれます。</p>

以上